

SDG s 出前授業実施報告書

川崎市立 西野川小学校 わくわくプラザ（学童保育）

【目的】

本授業は「リサイクル」をテーマとし、鉄道の車両清掃で発生する廃棄物を資源として循環利用する仕組みを紹介しました。児童には実験や工作を通じて体験的に学んでもらい、SDGsの重要性への理解を深めることを目的としています。

- 日時：8月19日（火） 14:30～15:30
- 開催場所：川崎市立西野川小学校わくわくプラザ
- 参加者：1～2年生30名と3～6年が10名程度、計30～40名＝1グループ（机）6～8名

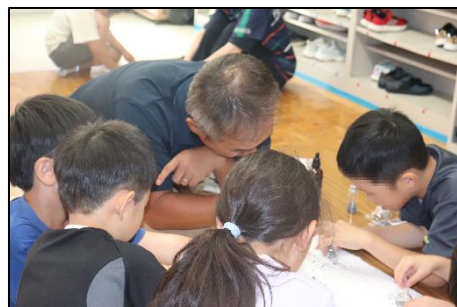
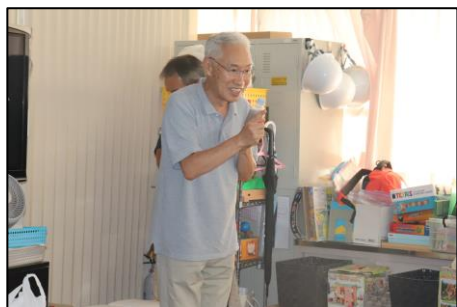
1.内容

- 導入：会社紹介や南武線での車両清掃の作業動画を通じて、廃棄物リサイクルの意義を説明。
- 体験学習：床ワックスの塗布・汚水処理実験・芳香剤づくりを行い、リサイクルを体験。
- まとめ：芳香剤の活用方法を紹介し、児童と質疑応答を通じてSDGsへの理解を深める。

2.各プログラム紹介

- 会社紹介と授業の目的、JR南武線での車両清掃の作業動画を通じて、廃棄物のリサイクルの意義を説明。
- 5グループに分かれ、道具配布後に床ワックス塗布と凝集・ろ過の実験を体験。児童は攪拌など一部作業を担当し、廃液がきれいになる仕組みを学ぶ。
- 凝集残渣をアロマストーンとして芳香剤の容器に入れ、エッセンシャルオイルを添加。完成品の芳香剤は児童が持ち帰り可能とし、使い方も説明。

3.実施の様子



感想

児童たちは授業を通じてリサイクルの大切さに関心を持ち、体験学習では「汚れがきれいになった!」「いい匂い!」と楽しみながら理解を深め、「楽しかった」という声も多く聞かれました。床ワックス塗布や芳香剤づくりを通じて、SDGsの仕組みを身近に感じられる内容となりました。